

一般社団法人東京都建築士事務所協会 木造専門委員会

木造標準図 2025

使用説明書

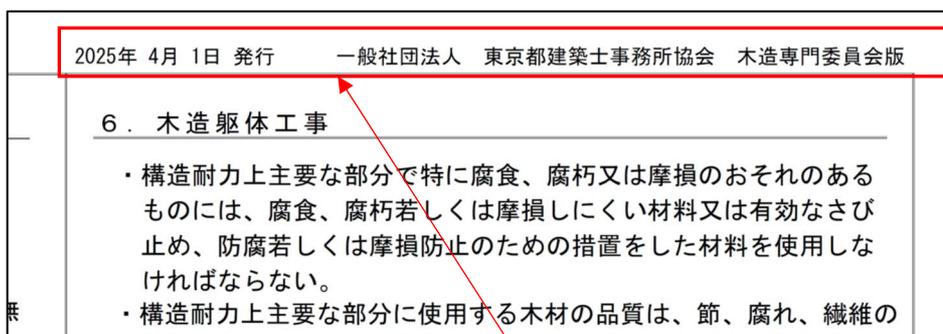
一般社団法人東京都建築士事務所協会 木造専門委員会

「木造工事特記仕様書および標準図」（以下、木造標準図という）

以下の点に留意して使用して下さい。

1. 本仕様はBMP、JPG、PDF、PNG、TIFFのA3版サイズ1／1縮の画像データとなります。
2. 本仕様の必要事項はCADにより書き込みや■を記入してください。
3. 貴事務所の設計上、不要となる項目はCADにて斜線等を入れて下さい。
4. 本仕様画像データの修正は原則禁止とします。

画像データを修正し使用する場合は仕様書、各標準図右上の「一般社団法人東京都建築士事務所協会 木造耐震専門委員会版」の部分を削除するとともに、修正部分を追記し、修正内容を明確にして下さい。



画像データ編集の際は必ず削除下さい

この画像データの著作権は一般社団法人 東京都建築士事務所協会に帰属します。
画像データ修正の有無、「一般社団法人 東京都建築士事務所協会 木造専門委員会版」の記載の有無にかかわらず販売、二次配布を禁止します。

ファイル内容

- ・木造工事特記仕様その1、木造工事特記仕様その2
- ・木造工事標準図（1）、木造工事標準図（2）、木造工事標準図（3）
- ・木造工事標準図（4）、木造工事標準図（5）

それぞれのファイルは下記の画像データとなっています。

（画像データ：BMP、JPG、PDF、PNG、TIFF）

・使用方法

書き込み等はCADで行って下さい。

書き込み例を赤色で表しています。

CADにてハッチング又は色塗りをして下さい。

CADにて文字を書き込みして下さい。

4. 地盤・基礎工事

(1) 直接基礎

ベタ基礎 布基礎 独立基礎

深さGL-0.45 m 支持層-粘土層

長期許容支持力度 30 kN/m² 載荷試験 有 無

(2) 地盤改良

浅層混合処理工法 深層混合処理工法

深さ GL- m

長期許容支持力度 kN/m² 載荷試験 有 無

注)「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針
：(一財)日本建築センター」を参考とする

(3) 杭基礎

杭工法

支持層- 杭先端の深さGL- m

不要な場合は斜線等を入れお使い下さい。

必要に応じCADにて修正行なって下さい。

※画像データを直接修正することは原則禁止します。

